

東郷地域自治区予算事業に関する建議書

東郷地域協議会は、新城市地域自治区予算事業計画策定要綱に基づき、地域課題の解決や地域の活性化について議論を重ね、令和4年度新城市地域自治区予算事業で実施する事業計画を策定いたしました。

今年度は昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染拡大防止対策の一環として、Zoomを使ってオンラインで会議を進めてきました。Web環境の調査から始め、会議運営や進行などに大きな不安を抱えてスタートした昨年度を思えば、2年目となる今年度は、地域協議会の中に経験が蓄積され、しっかりと議論ができるようになったと思います。コロナ後の新しい会議のあり方を開発しようとチャレンジしてきた地域協議会委員全員の意気込みと取り組みが大きな財産になったと感じています。

また、事業の内容としては、多くの住民が参加し、住民が主体となって行政とともに進めていくような性質を持つ事業を多く生み出しました。そして、「提案して終わり」でなく、地域協議会や地域の住民が主体となって提案事業に関わっていくとともに、事業が実施されていく中で、より多くの住民の参加を呼びかけながら、東郷のまちづくりに関わる仲間を増やしていきます。

昨年度完成した東郷地域計画の最終目標である「わくわくするまち東郷」を達成するために、地域協議会委員一同、さらに一致団結して邁進して参ります。

つきましては、地方自治法第202条の7第1項第2号に基づき以下のとおり建議します。

● 令和4年度 東郷地域自治区予算 予算総額 6,740千円

事業計画

1. 地域の暮らしを守るための事業（要綱第4条1(1)）

(1) 地域交通検討事業 471千円

「東郷地域自治区の足を考える会」で、東郷地域に合った移動手段を引き続き検討していくとともに、その仕組みについて茶話会を通して住民の方へ周知することにも取り組んでいく。

2. 地域の安心安全を促すための事業（要綱第4条1(2)）

(1) 地域防災連携促進事業 61千円

災害が起こった際にも各区の自主防災組織同士で連携が取れる体制を確立しておくために「東郷の防災を考える会」を発足し、東郷地域全体の防災について話し合いを進めていく。

(2) AED普及推進事業 485千円

AEDの整備を行い、地域住民の安全と安心を図る。

3. 地域の活性化を図るための事業（要綱第4条1(4)）

特に、IT先進地域を目指して、各種事業を行う。

(1) 子育て世代交流促進事業 344千円

子育て世代同士のつながりが生まれるような機会をつくとともに、子育て世代が子育てをする上で何に困っているのかを拾い上げ、今後どのようなサポートが必要なのかを考えていく。

(2) 関係人口促進事業 1,224千円

東郷地区への移住・定住者を増やすとともに、東郷地区のIT人材育成を図るため、1ヶ月間かけてWEBスキル全般及びフリーランスとしての仕事術を学ぶ講座を開催する。

(3) 多世代交流事業 633千円

東郷の自然や建物を利用して、こどもたちからお年寄りまで多世代にわたって交流や学びの機会とする「東郷学び学校」を開催する。

(4) 長篠・設楽原の戦い歴史検定作成事業 447千円

東郷地域の方々に地元の郷土歴史を知ってもらい、より愛着を持ってもらうため、長篠・設楽原の戦いの歴史検定試験を作成する。

(5) 東郷PR事業 472千円

東郷地区の魅力、活動、人などについて市内外にPRし、観光につながる広報ツールとして活用するため、東郷地域のホームページの運用を行う。

(6) スポーツバイク普及推進事業 2,603千円

マウンテンバイクやキックバイクを楽しむことができるための初心者向けコースであるケッターパークの運営を行う。

令和3年10月20日

新城市長 穂積亮次様

東郷地域協議会 会長

稲垣孝治